

2012 年度事業報告書

自 2012 年 4 月 1 日
至 2013 年 3 月 31 日

公益財団法人日本学生航空連盟

2012 年度事業報告書

2012 年度事業計画書並びに事業結果

I. 基本方針

公益財団法人日本学生航空連盟は自助努力により健全財政を基調に、学生グライダースポーツの統括団体として全国組織の活動を行うことにより、我が国の航空文化の継承、発展を期する。学連本部及び地区滑空場運営組織の主要構成員たる学連OBは一体となってこの公益目的事業の完遂に努力する。

1. 日本学生航空連盟が公益財団法人としてスタートする年にあたり、改めてグライダーの安全運航が最優先課題であることを再確認するとともに、安全教育を徹底し、訓練飛行、競技飛行の指導を実施する。
2. グライダースポーツの教育訓練、競技会、普及啓蒙と云う三つの公益事業を進めるにあたり、①地域法人との連携強化、②学生の負担増なき財政基盤強化、③加盟校会員及び賛助会員の増強、の三点を進める。
3. 公益財団法人の業務体制強化として、①新定款による執行体制強化、②組織諸規程の整備と実践、③事務局体制の効率化、の三点を進める。

(概 要)

2012 年度は公益財団法人としてスタートし、連盟の組織も大きく変革する中での1年でありました。公益事業、管理業務につきましても、細部については改善を要する部分も多々ありますが、主要計画については、ほぼ従来どおり計画を遂行する事が出来ました。

また、最優先課題と認識するグライダーの安全については、指導員講習会、訓練所長会議等を通じ、安全に対する取り組みを徹底し、訓練飛行、競技飛行の区別なく事故扱いとする事例はなく、安全運行を行なうことが出来ました。しかしながら、ヒヤリハット、軽微なインシデントなどは発生しており、今後さらなる努力を継続する必要があるところです。

更に地域法人との連携強化については三地区法人と業務委託契約を締結致しましたが、公益法人と地区間にコミュニケーションのギャップが生じていることも有り、2013 年度の課題としております。学生の負担増なき財政基盤強化、加盟校会員数、賛助会員等の増強については地域差が有り改善を要するところでもあります。

更に業務執行体制ですが、規程等の整備、効率化についても事務局を縮小する中、ボランティアのご協力を頂きながら継続実施中です。事業計画の項目別結果並びに主要項目の詳細については以下のとおりです。

<p>II. 公益事業</p> <p>1. グライダースポーツの教育訓練とその他の安全な教育訓練システムの維持</p> <p>(1) 訓練所運営</p> <p>① 妻沼、木曾川、白川、久住各滑空場と福井空港の 5ヶ所で訓練所を運営する。</p> <p>② 宿舍、会議室、格納庫、滑走路並びに関連機材の整備・管理を地域法人へ運営委託する</p> <p>③ 共用機材の訓練機 7機、曳航用ウィンチ 4台、車両、重機などを地域法人へ運営委託する。</p> <p>④ 訓練所施設の保守を行う。(妻沼、木曾川、福井)</p> <p>⑤ 妻沼滑空場のウィンチ車、その他車両等の整備を行う。</p>	<p>飛行実績は 別紙 1</p> <p>継続実施</p> <p>実施済</p> <p>実施済</p> <p>保守実績 別紙 4</p> <p>継続実施</p>
<p>(2) 訓練指導</p> <p>① 操縦教育証明資格者を年間 5名の増強を目標として育成する。</p> <p>② 連盟認定指導員を加盟校の推薦を得て、現在の 118名から新たに 5名を目標に任命し指導者を増強する。</p> <p>③ 必要に応じ指導員（飛行、整備）を各地区へ派遣する。</p> <p>④ グライダー曳航ウィンチスタッフを講習と技能確認を行い、加盟校学生の中から認定する。</p> <p>⑤ 操縦飛行経歴を保有し、飛行に空白期間がある指導員に復帰プログラムを提供する。</p>	<p>9名資格取得</p> <p>6名新規任命</p> <p>主催大会へ教育管理部長、訓練所長を派遣</p> <p>35名新規任命</p> <p>継続実施</p>
<p>(3) 航空従事者指定養成施設の運営</p> <p>① 自家用操縦士（滑空機）を年間 30名を目標に育成する。</p> <p>② 事務局がコース運営のための指導員、機材などのスケジュール調整を実施する。</p> <p>③ 各校合宿時のコースと年間 4回の専用合宿コースを設定する。</p> <p>④ 利用手続き簡素化や期間短縮を実施し、資格取得希望者の 90%カバーを目標とする。</p> <p>⑤ 学科、実技教官の新規任用と再任用を進める。</p>	<p>23名合格（76%遂行） 詳細 別紙 2</p> <p>継続実施</p> <p>実施済</p> <p>期間短縮は未達取得希望者のほぼ全員カバー</p> <p>4名新規任用 (太田、熊谷、八尾、深田)</p>

<p>(4) 安全管理</p> <p>① 安全飛行大会を妻沼滑空場で開催する。</p> <p>② 安全情報を収集し、グループウェアを使用した情報共有化体制を強化する。</p> <p>③ 安全管理規程を周知すると共に、事故発生時の対応などに必要な知識を再度徹底教育する。</p>	<p>滑空協会主催</p> <p>11月10日、11日実施済</p> <p>データ収集中、全国共有化は未実施</p> <p>指導員講習会・会議・メールを通じて実施済</p>
<p>(5) 公共サービスの提供</p> <p>① 妻沼、久住各滑空場において航空援助局（フライトサービス局）を運営する。</p> <p>② 国土交通省の試験官の技能拡張訓練及び運輸安全委員会委員の体験飛行などを受託する。</p> <p>③ JAXA からの委託事業としてウィンチ曳航初期のヒヤリ・ハットレポートを作成する。</p> <p>④ その他滑空場施設等の利用希望に対して柔軟に対応する。</p>	<p>継続実施</p> <p>技能拡張訓練は未受託</p> <p>運輸安全委員会 4名 11月5日実施</p> <p>未受託の為未実施</p> <p>CM 撮影、実験、グライダー一見学希望等に対応</p>
<p>2. グライダー競技会の主催及び共催、後援</p> <p>(1) 全日本学生グライダー競技選手権大会の開催（共催：朝日新聞社）</p> <p>(2) 全日本学生グライダー新人競技大会の開催（共催：朝日新聞社）</p> <p>(3) 久住山岳滑翔大会開催並びに安全祈願祭の実施（共催：朝日新聞社）</p> <p>(4) 各地区競技会（全国大会予選）の開催（後援：朝日新聞社）</p> <p>(5) その他競技会、対抗戦等の後援</p> <p>① 国立7大学総合体育大会グライダー競技会</p> <p>② 原田覚一郎杯大学対抗グライダー競技大会</p> <p>③ 東京六大学対抗グライダー競技会</p> <p>④ その他加盟大学対抗戦</p> <p>(6) その他</p> <p>① 競技会機会増加の検討並びにGPS使用を検討する。</p> <p>② 近隣滑空場との交流を進める。</p>	<p>結果詳細は 別紙3</p> <p>実施済</p> <p>実施済</p> <p>実施済</p> <p>実施済</p> <p>未実施（申し出無し）</p> <p>実施済</p> <p>実施済</p> <p>全日本高等学校滑空選手権大会他4競技会を後援</p> <p>継続検討</p> <p>羽生、加須読売、関宿と打ち合わせ</p>

<p>3. 航空スポーツの普及啓蒙</p> <p>(1) 機関紙とホームページによる情報発信</p> <p>① 機関紙「方向舵」を年間 2 回発行する。(135 号、136 号)</p> <p>② 方向舵に競技会や主要事業の結果を報告する。</p> <p>③ 空域や航空法規など官公庁との調整結果を広報する。</p> <p>④ 気象、航空力学、滑翔技術などの関連技術情報、航空一般に関する知識や情報を提供する。(広報、講習会)</p> <p>⑤ 安全情報の公開および安全飛行の啓蒙を行う。</p> <p>⑥ 日本滑空記章、国際滑空記章の取得を指導する。</p>	<p>発行済</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p>
<p>(2) 地域活動</p> <p>① 滑空場地域のスカイフェスタイベント等に参加する。(熊谷、福井、白川)</p> <p>② 市民講座、親子講座など航空に関する講習会を支援する。</p>	<p>熊谷グライダーフェスタ 白川で地区法人と参加</p> <p>8月2日熊谷市教育員会 「わくわく探検隊」小学生 8名保護者7名グライダー の機体説明と模型作り</p> <p>9月11日彩の国いきがい 大学 26名参加</p>
<p>(3) 搭乗会と生涯スポーツの支援</p> <p>① 地元市民向け搭乗会を地域と連携し実施する。(熊谷、大野、白川)</p> <p>② 加盟校 OB 搭乗会の開催環境を整備する。</p> <p>③ 地元グライダークラブなどを通じ、社会人の搭乗機会を提供する。</p> <p>④ 生涯スポーツとしてグライダー継続するための支援体制を、下記の項目を中心に整備する。 ア) 生涯スポーツとして続ける人を会員登録し、グライダースポーツの最新情報、飛行機会情報などを提供及び紹介を行う。 イ) 特定操縦技能審査を含め飛行や運航に関する助言を行う。</p> <p>⑤ 講習会と連動しクロスカントリーキャンプを企画する。(トレーニング&トライ)</p>	<p>熊谷市と 5月12日、10月6日、1月12日に市民搭乗会実施(各15名)</p> <p>料金表の整備実施</p> <p>妻沼クラブ、NPO九州実施朝日クラブ</p> <p>賛助会員へ提供</p> <p>オーラル資料の作成</p> <p>未実施</p>

<p>(4) 国際交流</p> <p>① オーストラリアへ学生派遣の方法について検討する。</p> <p>② グライダースポーツ先進国ドイツの学生航空連盟組織と隔年相互に相手国を訪問し、人材交流を通して相互理解と知識や技術を深める。</p> <p>③ その他海外の国や機関との交流を検討する。</p>	<p>継続検討</p> <p>ドイツからの連絡未着の為、未実施</p> <p>滑空協会から情報収集</p>
<p>担当別計画遂行体制</p>	
<p>Ⅲ. 管理推進体制</p>	
<p>1. 事務局</p>	
<p>(1) 役員会・会議の開催</p> <p>① 評議員会、理事会の開催と関連業務を実施する。</p> <p>② 中央学生委員会を開催する。</p> <p>③ 地区連絡協議会に参加する。</p> <p>④ その他の会議を主催する。</p>	<p>実施済</p> <p>理事会 6月16日、11月17日</p> <p>評議員会 6月23日 開催</p> <p>11月17日開催</p> <p>中央学生委員会</p> <p>6/24、11/20 開催参加</p>
<p>(2) 総務・経理関係</p> <p>① 事業計画書・予算書・決算書原案を作成する。</p> <p>② 本部事務所を運営する。</p> <p>③ 保有資産の現状調査と必要な保守を行う。</p> <p>④ 連盟諸規程の整備を行う。</p> <p>⑤ 新会計処理規程に基づく経理処理を行う</p> <p>⑥ 認定指導員に対する損害賠償責任保険の付保を検討する。</p> <p>⑦ ボランティアスタッフへの継続的協力依頼及び育成を行ってゆく。</p>	<p>作成済</p> <p>継続実施</p> <p>実施済 明細 別紙 4</p> <p>5 規程の改正整備を実施</p> <p>継続実施</p> <p>検討済 (対象商品不適)</p> <p>継続実施</p>
<p>(3) 滑空場運営管理</p> <p>① 滑空場の占有許可申請、それに関連する対応を行う。</p> <p>② 滑空場施設の保守、運営委託等について、契約や体制の整備と地域法人との対応を行う。</p>	<p>当年度該当滑空場無し</p> <p>実施済 (東日本 4月、NPO 九州 7月、東海・関西 10月)</p>
<p>(4) 関連官庁への対応</p> <p>① 内閣府、総務省、文部科学省、国土交通省への対応を行う。</p> <p>② 埼玉県、岐阜県、大分県、福井県、熊谷市等への対応を行う。</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p>

<p>2. 広報・渉外</p> <p>(1) 協賛企業並びに賛助会員</p> <p>① 学連並びにグライダー全般の広報活動を行う。</p> <p>② 協賛企業を新たに 10 社程度開拓する。</p> <p>③ 個人賛助会員を 2012 年度は新規募集目標を 300 名とする。2014 年までの募集目標を 1,000 名とする。</p> <p>④ 団体賛助会員を 2012 年度は新規募集目標を 10 件とする。2014 年度末の目標を 50 件とする。</p> <p>⑤ 賛助会員への特典をカード、バッジ、パンフレット、カレンダーや方向舵、講習会などを作成・実施し魅力あるものにする。</p>	<p>継続実施</p> <p>富士重工、日本航空と交渉 申込者 90 名</p> <p>1 社開拓</p> <p>バッジ、カレンダー、方向舵を配布</p>
<p>3. 事業担当</p> <p>(1) 競技会</p> <p>① 競技会日程を決定し、競技会を運営する。</p> <p>② 競技会規程の見直しを行う。</p> <p>③ 文部科学省、スポーツ振興くじ等の支援を得る体制を作り申請する。</p>	<p>実施済</p> <p>継続実施</p> <p>実施済 (指定航空従事者養成施設)</p>
<p>(2) 指定航空従事者養成施設</p> <p>① 年間スケジュールを調整する。</p> <p>② 実技・学科教官の適正配置と計画的レビューを実施する。</p> <p>③ 教育規程の見直しを行う。</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>一部実施 (期間短縮)</p>
<p>(3) 講習会</p> <p>① 学生向け講習会 (空域、気象、ソアリング) を東京、大阪、他で実施する。</p> <p>② 社会人向け講座 (関連法規、飛び方などのアップデート) を東京で実施する。</p>	<p>新人研修会関東 6 月 12 日</p> <p>未実施</p>
<p>(4) 出版</p> <p>① 「方向舵」の発行に関する取材、編集を指導し、年間 2 回発行する。</p> <p>② グライダースポーツ手帳、ログブックを改訂発行する。</p> <p>③ 共通シラバス、指定養成テキストを作成する。</p>	<p>発行済</p> <p>ログブック 1,000 部印刷</p> <p>実施済</p>

<p>(5) その他新規重要事項</p> <p>① 学生会員数の増強を図る。(2012年度700名) (年次別学生会員数)</p> <table border="1" data-bbox="293 409 1010 703"> <thead> <tr> <th></th> <th>2008年</th> <th>2009年</th> <th>2010年</th> <th>2011年</th> <th>伸展%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関東</td> <td>338</td> <td>335</td> <td>342</td> <td>327</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>東海</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>76</td> <td>91</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>関西</td> <td>215</td> <td>209</td> <td>178</td> <td>158</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>74</td> <td>78</td> <td>88</td> <td>57</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>703</td> <td>700</td> <td>684</td> <td>633</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 滑空場の使用効率向上策を検討する。(ウィークデーの活用)</p> <p>③ 日本学生航空連盟の飛行関連機材(グライダー、ウィンチ、その他)の整備・購入を検討する</p>		2008年	2009年	2010年	2011年	伸展%	関東	338	335	342	327	96	東海	76	78	76	91	120	関西	215	209	178	158	73	西部	74	78	88	57	78	合計	703	700	684	633	90	<table border="1" data-bbox="1091 409 1353 703"> <thead> <tr> <th></th> <th>2012年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関東</td> <td>313</td> </tr> <tr> <td>東海</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>関西</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>626</td> </tr> </tbody> </table> <p>継続検討</p> <p>東京大学から無償譲渡されたJA2379をオーバーホール中</p>		2012年	関東	313	東海	88	関西	169	西部	56	合計	626
	2008年	2009年	2010年	2011年	伸展%																																												
関東	338	335	342	327	96																																												
東海	76	78	76	91	120																																												
関西	215	209	178	158	73																																												
西部	74	78	88	57	78																																												
合計	703	700	684	633	90																																												
	2012年																																																
関東	313																																																
東海	88																																																
関西	169																																																
西部	56																																																
合計	626																																																
<p>4. 安全・教育訓練担当</p> <p>(1) 安全教育</p> <p>① 学連全体の安全管理を指導すると共に安全会議を開催する。</p> <p>② ヒヤリ・ハット、その他情報を収集し広く公開する。</p>	<p>指導員講習会に合わせ開催</p> <p>地区内で公開実施</p>																																																
<p>(2) 認定指導員</p> <p>① 認定指導員講習会を開催する。</p> <p>② 認定指導員を任命する。</p> <p>③ 操縦教育証明受験者を指導する。</p> <p>④ ウィンチマンへの研修と認定を行う。</p> <p>⑤ 特定操縦技能審査制度を指導する。</p>	<p>5月25日、6月1日実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>オーラル教材作成済</p>																																																
<p>(3) 航空局</p> <p>① 60条、61条、92条の申請を取りまとめる。</p> <p>② 滑空場訓練空域を調整する。</p> <p>③ その他航空局との折衝・情報交換等を行う。</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p>																																																
<p>(4) 滑空場別諸統計を作成</p>	<p>作成済(別紙1)</p>																																																
<p>(5) 無線局</p> <p>① フライトサービスの管理と無線従事者の選解任を行う。</p> <p>② HF無線局の管理を行う</p>	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p>																																																

以上

(別紙 1)

訓練統計記録表(2012 年 1 月～12 月)

		関東	東海	関西	西部	合計
加盟校数		23	9	15	11	58
部員総数		312	81	176	56	625
訓練状況	合宿回数	207	54	175	13	449
	参加延人数	12,299	1,377	2,463	491	16,630
	飛行回数	19,660	1,980	4,937	832	27,409
技能証明	操縦教育証明	7	2	0	0	9
	事業用操縦士	0	0	0	0	0
	自家用操縦士	26	4	11	1	42
	二等航空整備士	0	0	0	0	0
	二等航空運航整備士	0	0	0	1	1
計		33	6	11	2	52
各校所有機材	使用滑空機	64	13	26	10	113
	ウインチ	6	2		1	9
	トレーラー	37	19		7	63
	無線機	134	24	32	22	212

(別紙2)

指定航空従事者養成施設(自家用)

1. 208期

開催期間	平成24年6月17日終了
場 所	妻沼滑空場
入 所 者	3大学3名
合格者数	2名(学業のため1名210期へ)

2. 209期

開催期間	平成24年6月23日終了
場 所	妻沼滑空場
入 所 者	5名
合格者数	5名

3. 210期

開催期間	平成24年8月7日終了
場 所	妻沼滑空場
入 所 者	5名
合格者数	3名(学業のため2名211期へ)

4. 211期

開催期間	平成24年11月23日終了
場 所	妻沼滑空場
入 所 者	3大学7名
合格者数	7名

5. 212期

開催期間	平成25年3月17日終了
場 所	妻沼滑空場
入 所 者	3大学5名
合格者数	4名

6. 213期

開催期間	平成25年3月21日終了
場 所	妻沼滑空場
入 所 者	1大学2名
合格者数	2名

(別紙3)

各種競技会・大会の詳細

1. 主催大会

(1) 第30回久住山岳滑翔大会(久住滑空場)

主 催	(公財) 日本学生航空連盟、朝日新聞社
後 援	大分県、竹田市、日本滑空協会、NPO九州グライダースポーツ連盟
日 時	平成24年4月30日(日)～5月5日(土)
場 所	大分県竹田市久住町白丹 日本学生航空連盟 久住滑空場
参加大学・選手	全国16大学、42名
成 績	【個人】 優勝：園山 友紀(大阪工業大学) 準優勝 松村 成史(関西外国語大学)

(2) 第15回全日本学生グライダー新人競技大会(木曾川滑空場)

主 催	(公財) 日本学生航空連盟、朝日新聞社
後 援	岐阜県、海津市、羽島市、愛西市、日本滑空協会
日 時	平成24年10月4日(木)～10月9日(火)
場 所	岐阜県海津市日原先 日本学生航空連盟 木曾川滑空場
参加大学・選手	全国27大学、48名
成 績	【個人】 優勝：安達 拓人(早稲田大学) 準優勝：栗野 翔太(慶應義塾大学) 【団体】 優勝：慶應義塾大学、準優勝：早稲田大学

(3) 第25回西部学生グライダー競技会(久住滑空場)

主 催	(公財) 日本学生航空連盟
後 援	大分県、竹田市、朝日新聞社、NPO九州グライダースポーツ連盟
日 時	平成24年10月6日(土)～10月14日(日) 但し5日、12日集合
場 所	大分県竹田市久住町白丹 日本学生航空連盟 久住滑空場
参加大学・選手	5大学、6チーム、12名
成 績	【個人】 優勝：黒岩 直哉(熊本大学) 準優勝：広瀬 貴之(九州大学) 【団体】 優勝：九州大学A、準優勝：福岡大学

(4) 第32回東海・関西学生グライダー競技会

主 催	公益財団法人 日本学生航空連盟
後 援	岐阜県、福井県、海津市、羽島市、愛西市、板井市、朝日新聞社 日刊スポーツ新聞社、(財)東海・関西学生航空連盟
日 時	平成24年11月5日(月)～11月11日(日)
場 所	公益財団法人日本学生航空連盟 木曾川滑空場
参加高校・選手	8校 選手7チーム 19名
成 績	【個人】 優 勝：堀 雄一(名古屋大学) 準優勝：酒井 太郎(名古屋大学) 【団 体】 優勝：名古屋大学A 準優勝：大阪大学

(5) 第28回 関東学生グライダー競技会

主 催	公益財団法人 日本学生航空連盟
後 援	熊谷市、朝日新聞社、東日本学生航空連盟 日刊スポーツ新聞社
日 時	平成24年12月17日(月)～12月23日(日)
場 所	公益財団法人日本学生航空連盟 妻沼滑空場
参加高校・選手	12校 選手15チーム 37名
成 績	【個人】 優 勝：池上 毅行(日本大学)、準優勝：伊藤 敦規(慶應義塾大学) 【団 体】 優 勝：日本大学Aチーム、準優勝：慶應YSチーム

(6) 第53回全日本学生グライダー競技選手権大会

主 催	公益財団法人 日本学生航空連盟、朝日新聞
後 援	文部科学省、国土交通省、埼玉県、埼玉県教育委員会、熊谷市、日本航空協会、日本滑空協会、テレビ朝日、日刊スポーツ新聞社、東日本学生航空連盟、東海・関西学生航空連盟、NPO九州グライダースポーツ連盟
日 時	平成25年3月2日(土)～3月10日(日)
場 所	妻沼滑空場

参加高校・選手	18 大学校 19 チーム 47 名
成 績	【個 人】 優勝：劔田 将孝(東京大学)、準優勝：堀 雄一(名古屋大学) 【団 体】 優勝：慶應 Y S チーム、準優勝：早稲田 L S チーム

2. 後援大会

(1) 第 45 回全日本高等学校滑空選手権大会

主 催	日本高等学校滑空連盟
後 援	社団法人日本滑空協会、公益財団法人日本学生航空連盟
日 時	平成 24 年 7 月 27 日 (金) ～ 7 月 29 日 (日)
場 所	公益財団法人日本学生航空連盟妻沼滑空場
参加高校・選手	2 校 3 キャンパス 35 名
成 績	一部 【個 人】 優勝：栗野 隆世(慶應義塾高校) 準優勝：藤沢 雄一(日本航空高等能登空港キャンパス) 【団 体】 石川 1 - A (日本航空高等能登空港キャンパス) 慶應 1 - A (慶應義塾高等学校) 二部 【個 人】 優勝：馬場 巧(日本航空高等能登空港キャンパス) 準優勝：大西亮佑(日本航空高等能登空港キャンパス) 【団 体】 優勝：石川 2 - A (日本航空高等能登空港キャンパス) 準優勝：石川 2 - B (日本航空高等能登空港キャンパス)

(2) 第 16 回原田覚一郎杯 大学対校グライダー競技大会

主 催	日本、青山学院、学習院、学習院女子、中央、東海、関東航空部
後 援	公益社団法人日本滑空協会、公益財団法人日本学生航空連盟、熊谷市
日 時	平成 24 年 8 月 8 日 (水) ～ 8 月 16 日 (木)
場 所	公益財団法人日本学生航空連盟妻沼滑空場
参加高校・選手	7 校 約 150 名

成 績	<p>【個 人】 優勝：和田 祐樹(中央大学)、準優勝：池上 毅行(日本大学)</p> <p>女子最優秀選手賞：大石 美咲(青山学院)</p> <p>滑空奨励賞 滑空協会：和田 祐樹(中央大学)</p> <p>【団 体】 優勝：青山学院大学Aチーム 準優勝：日本大学Bチーム 滑空奨励賞 滑空協会：青山学院大学Aチーム</p>
-----	---

(3) 第15回東京六大学対抗グライダー競技会

主 催	東京六大学対抗グライダー競技会実行委員会
後 援	公益社団法人日本滑空協会、公益財団法人日本学生航空連盟、熊谷市、一般財団法人 日本航空協会
日 時	平成24年9月15日(土)～9月22日(土)
場 所	公益財団法人日本学生航空連盟妻沼滑空場
参加高校・選手	6校 選手23名 クルー約40名
成 績	<p>【個 人】 優勝：伊藤 敦規(慶應義塾大学) 準優勝：飯田 健登(慶應義塾大学)</p> <p>【団 体】 優勝：慶應義塾大学 準優勝：東京大学</p>

(4) 第42回早慶対抗グライダー競技会

日 時	平成25年3月12日(火)～3月18日(月)
場 所	公益財団法人日本学生航空連盟妻沼滑空場
参加高校・選手	選手10名 クルー約50名
成 績	<p>【団 体】 優勝：慶應義塾大学、準優勝：早稲田大学</p> <p>【個 人】 優勝：伊藤 敦規(慶應義塾大学) 準優勝：風間 勇輝(早稲田大学)</p>

(5) その他

- ① 第15回名城大学・名古屋大学・名古屋工業大学・岐阜大学・南山大学対校グライダー競技会 3/15～3/21
- ② 名古屋大学・大阪大学対抗戦 (3/27～31)

(別紙4)

2012年度訓練所の保守状況

訓練所	保守箇所	金額	備考
木曾川	食堂エアコン修理	213,335円	破損
	リトウェイの補修	441,000円	
福井	宿舎外壁補修	1,575,000円	
妻沼	畳の取り替え	1,450,000円	
	女子風呂シャワー追加工事	546,000円	女子部員の増加
	エアコン取り替え(2部屋)	607,000円	破損
	リトウェイの補修	88,000円	
	浄化槽ブロワ交換	298,000円	老朽化
	宿舎洗面台交換	241,500円	
合計	—	5,459,835円	

以上